

高病原性鳥インフルエンザへの対応について

1 発生状況（平成29年2月8日現在）

（1）農場での発生状況

- ①11月18日 青森県青森市 あひる（フランス鴨）農場（約18,000羽）
- ②12月2日 // あひる（フランス鴨）農場（約4,700羽）

*①と疫学的な関連のある農場

- ③11月29日 新潟県関川村 採卵鶏農場（約310,000羽）
- ④11月30日 // 上越市 採卵鶏農場（約240,000羽）
- ⑤12月16日 北海道清水市 採卵鶏農場（約280,000羽）
- ⑥12月19日 宮崎県川南町 肉用鶏農場（約120,000羽）
- ⑦12月27日 熊本県南関町 採卵鶏農場（約92,000羽）
- ⑧1月14日 岐阜県山県市 採卵鶏農場（約81,000羽）
- ⑨1月24日 宮崎県木城町 肉用鶏農場（約160,000羽）
- ⑩2月4日 佐賀県江北町 肉用種鶏農場（約69,000羽）

【防疫措置状況】

- ①～⑧については全ての制限区域解除
- ⑨、⑩とも全ての防疫措置が終了。新たな発生がなければ、⑨は2月17日、⑩は2月28日に全ての制限区域解除予定。

（2）野鳥等での確認状況

H5N6亜型の確認は、20道府県211例（本県該当なし）

2 本県の対応状況

（1）対策会議の開催

- 家畜保健衛生所 所長，防疫担当者会議（他県発生の都度）
- 高病原性鳥インフルエンザ防疫対策会議（1月17日）
（参集者：養鶏団体，県関係者等）

（2）消石灰による発生防止対策の強化

- 消毒継続のための消石灰再配布 約7,000袋（国費対応 2月2日完了）
- 常備備蓄する消石灰量を約3,000袋から約7,000袋に増加（2月7日完了）

（3）養鶏農家へのきめ細かい対応

- 家畜保健衛生所による全養鶏農家への個別指導の実施
消毒の実施や防鳥ネットの点検等について再徹底
- 発生状況等についてリアルタイム情報の迅速な提供

（4）野鳥に係る相談窓口

- 「鳥インフルエンザに関する相談窓口」を県ホームページのトップに掲載